

Together

50th
ANNIVERSARY
かわらないもの。かわってゆくこと。

2015 Spring | <http://www.shukutoku.ac.jp>

SHUKUTOKU



Cover Person
廣澤 瑠里さん
コミュニティ政策学科3年

これからの時代を担う 皆さんへ

次の50年の歴史を創るのは私たち
“淑徳大学を知る”

先輩が紹介するキャンパス活用術

学祖を訪ねて
マハヤナ学園
～いまでも続く学祖の足跡を訪ねてみよう～

NEWS CLIP

知識モリモリ×栄養モリモリ
“Bran”て何？

206
2015. 4. 1

出会いから新しい自分が生まれる

淑徳大学の各キャンパスの桜が美しく咲いていきます。多くの木が集まれば、いつそう華やかになります。新入生の皆さん、在学生の皆さんの一人ひとりが花を咲かせ、キャンパス全体が美しく彩られる、そんな、共に生き、皆が輝く大学でありたいと思います。

皆さんはこれまでも多くの人々に支えられてきました。大学では、これまで以上に、異なる価値観を持つ仲間や先輩・後輩、豊富な経験を持つ先生方、幅広い年代の地域の方々とのさまざまな出会いがあります。「共生」とは、横の関係を広げるといふ意味だけに、とらえられがちですが、世代を超えた縦の関係も非常に重要です。恩師の助言や実習で出会った方の感謝の言葉が、皆さんの一生を左右することもあるでしょう。「共生」とは、共に生きる(いきる)ことに加えて、共に生まれる(うまれる)という意味も持っています。人は他者との出会いのたびに、新たな自分に目覚め、成長していくものです。多感な青年期の体験は生涯の財産になります。共に汗をかき、学び合い、高め合う、実り多い大学生活を過ごしてください。

淑徳大学の精神と学びを誇りに
本学は今年、創立50周年を迎えます。この記念すべきいまこの時を皆さんと共有できることは大きな喜びです。同時に、これからの50年のスタートを担う皆さんの活躍に期待しています。

社会福祉学部だけの単科大学からスタートした本学は、いまや4キャンパス6学部11学科を擁するまでになりました。創立者である長谷川良信先生は、開学に際して、社会福祉のみならず、これからの時代はすべての社会的実践において「他者と共に生きる力」が求められ、そうした力をも身につけた人材を育成することが大学の使命であると確信し、大乘仏教の精神を掲げるところとする「共生の理念」を建学の精神に定めました。

自分の力だけで生きていくのではなく、他者に生かされていることを自覚し、そこから「他者と共に生きる」というさまざまな社会的実践が生み出されていくのです。いわば、共生や実学の精神は、専門の知識を社会で活かしていくエネルギーであり、すべての学部・学科の教育において、専門の枠を超えて、本学の人材育成の土台を成しているものです。

いのち、言葉を大切に

昨今、いのちの大切さをあらためて考えさせられる心痛む出来事が続いています。皆さんはどのように感じているでしょうか。

個人主義に偏ることなく、他者との関係を大切に、他者を思いやる文化は日本人の美徳だろうと私は思っています。たとえば、「いただきます」という日本語には、いのちをいただく、生かされているという深い意味があります。

これからの大学生活、社会生活を送るにあたり、他者との関係性の上に自分の存在があるということに常に意識してほしいと思います。共生とは求め合うことではなく、他者や社会の中での自分のありようを理解し、お互いを尊重し合うことなのです。それが「自立」ということにもなります。

そのために「言葉」はとても大切です。言葉によって、自分の内面を明らかにすることができます。思いを折に触れて言葉にあらわしてみましよう。あいさつや感謝の言葉を他者に伝えることは言うまでもありません。もつともいのちに響き、心を開く鍵です。時代がどのように変わろうとも、心豊かに、他者と自分のいのちを大切に、活かすことができる人になってほしい。50年の節目を迎え、あらためてそのことを強く願います。

淑徳大学学長
足立 叡
(あだち あきら)

これからの 時代を担う 皆さんへ



● 総合福祉学部長
戸塚 法子



● コミュニティ政策学部長
山本 功



● 看護栄養学部長
田中 秀子



● 国際コミュニケーション学部長
星野 英樹



● 経営学部長
廻 洋子



● 教育学部長
新井 保幸



● 人文学部長
宇佐美 正利





次の50年の歴史を創るのは私たち

淑徳大学を知る

「後に続く者を育てたい。学生諸君、君らは私の同志である。」
50年前、学祖・長谷川良信先生は、開学の思いをこのように語っています。
この間に社会は大きく変化し、福祉や教育や地域の新たな問題が次々に生まれています。
良信先生の志を受け継ぎ、これからの時代で自分を活かすにはどうすればいいでしょうか。
本学の原点をあらためて確認し、将来に続く学びをいっそう意義あるものにしましょう。



淑徳大学創立まで

いまだから100年近く前、良信先生は東京・西果鴨の通称二百軒長屋に住み込み、厳しい境遇に置かれた子どもたちのための夜学、住民相談等の隣保事業（セツルメント）を行いました。さらに欧米での視察や戦前戦後の時代の要請などもふまえ、社会改善のための教育事業（特に女子教育）の重要性を痛感し、力を注ぐようになります。こうして小・中・高校を有する総合学園に発展していくなかで、仏教精神を凝りどころ

として地域のために総合的に社会開発・人材育成を展開していきたいという構想を深め、事業の集大成として、1965（昭和40）年、国内4番目の社会福祉系単科大学である本学が開学したのです。



サービスラーニングという学び方

ボランティアといえば淑徳といわれるほど本学は高い評価を得ています。また近年、サービスラーニングと呼ばれる体験型・実践型の学びに力を入れています。これらが、実学の精神に基づいたものであることはいままでもありません。

東日本大震災復興支援ボランティアや地域連携等、数々の活動を展開しています。そのなかで、参加した学生は、助ける、役に立つと意識込んで行くのではなく、ともに汗をかく、学ばせていただくという気持ちで行くべきであるという話をしています。思いやりや支え合いということをもつて学んでいるのです。こうした機会が豊富にあることも特色であり、淑徳ならではの学びをぜひ体験してほしいと思います。

「Together with him」の原点
「共生性」には、仏教の自利利他の精神がもたらされています。
ひとりの「いのち」が、他の一切のいのちと深いとらでつながっていることに気づいたとき、人は自他のいのちの尊厳を自覚できます。その尊いいのちを自他の自己現実に向けて燃焼させること、これが「自利利他」の意味です。そこでは、自己の「しあわせ（いたみ）」と他者の「しあわせ（いたみ）」は根本において別々のものではないと考えられています。

良信先生は二百軒長屋での市民救済に携わる傍ら、同時期に29歳にして「社会事業とは何ぞや」を刊行しています。「for him（彼の為に）」ではなく「together with him（彼と共に）」でなければならぬ。は、同著の中に登場した言葉です。仏教精神を新しい時代に活かし、社会事業を明確に理論化した現代にも通じる名著といえます。社会事業を分類するとともに、社会事業は個別・単発的の事業活動ではなく、パートナーシップのようにならざるを得ない事業であると自論を展開しました。

実学とは

本学の教育理念に「実学」があります。一般的に実用的な学問と理解されることが多いですが、良信先生が思い描く実学の意味は、やや異なりします。
良信先生は、実学とは「実践を通して吟味得られた学問」であり、つきつめていくと「真に自己の人格に実りをもたらす学問」と述べています。繰り返しますが、いただきたいのちを自分と他者のために活かすことが、共に生きることであり、自利利他を実践することです。たとえば、福祉や教育の知識を多く持っていたとしても、他者のために活かさなければ意味がないでしょうし、社会のために自分を活かすことにもならないでしょう。知識は、他者との関係のなかで、ときには失敗や挫折を経験しながらも、実際に試してみることが体得することができず、どうしたら他者のためになるか、悩み考えることによって自分を活かし、高めていくことができるのです。その意味で、実学とは知識というより、学び方や生き方の心がまえをあらわしているといえます。



学祖 長谷川 良信先生 (1890-1966年)

仏教者、教育者、社会事業家、社会福祉研究者。6歳で出家得度。浄土宗立芝中学校（現：芝学園）、宗教大学（現：大正大学）で学ぶ。卒業後、社会事業に身を投じ、その実践と理論化で多くの偉業を残す。宗教・社会福祉・教育の三位一体による人間開発・社会開発を理念に掲げ、明晰な頭脳、堅固な志、頼まれなる行動力で共生社会の実現に情熱を注いだ。



ブラジル派遣研修 良信先生は3回ブラジルへ渡り、布教や日系移民の支援を行いました。航路で、しかも60歳を過ぎてからの困難な旅でした。その縁で毎年ブラジルへの研修生派遣を行っています。



東日本大震災復興支援ボランティア 震災発生の直後から、復興支援、児童・生徒のための学習支援ボランティア等を継続して行っています。学食には震災復興支援メニューも。東北との絆がいっそう深まっています。



淑徳のシンボル「円形校舎」 通称「マルカン」（千葉キャンパス1号館）。改修が行われていますが、その姿は開学当初から変わりません。4階の長谷川仏教文化研究所では本学や学祖の資料が展示されています。

Point to Know the University



龍澤山 大蔵寺 千葉キャンパスの場所は元々大蔵寺の寺域でした。450余年前の天文年間に創建された浄土宗の名刹です。江戸時代は檀林と称して、全国から学僧が集まる学問寺として栄えました。

- 昭和40（1965）年1月 淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科設置認可（千葉県千葉市大蔵寺）開学（千葉キャンパス）、創立者長谷川良信学長就任
- 昭和40（1965）年4月 付属施設、淑徳大学児童相談所開設
- 昭和41（1966）年8月 創立者長谷川良信遷化
- 昭和44（1969）年4月 「精神薄弱幼児治療教室」開設
- 昭和47（1972）年4月 付属施設児童相談所を付属研究所施設「淑徳大学カウンセリングセンター」に改称
- 昭和52（1977）年4月 カウンセリング・センターを「淑徳大学社会福祉研究所」に改組
- 昭和61（1986）年5月 開学20周年記念式典挙行
- 平成元（1989）年4月 大学院社会福祉学研究所開設
- 平成3（1991）年12月 社会福祉学部社会福祉学設置認可、社会学科設置に伴い学部名称を社会学部に変更
- 平成4（1992）年4月 社会学部社会学科開設
- 平成7（1995）年4月 大学院社会福祉学研究科博士課程（後期課程）を開設
- 平成8（1996）年4月 大学院社会福祉学研究科
- 平成8（1996）年4月 （社会学専攻修士課程）開設
- 平成8（1996）年4月 国際コミュニケーション学部 経営環境学科・文化コミュニケーション学科開設（埼玉キャンパス）
- 平成10（1998）年4月 大学院社会福祉学研究科を社会学研究科に名称変更
- 社会学専攻修士課程開設
- 平成12（2000）年4月 大学院国際経営文化研究科開設
- 社会学部心理学科開設
- 平成13（2001）年4月 国際コミュニケーション学部 経営環境学科を改組し、人間環境学科と
- 経営コミュニケーション学科を開設
- 平成15（2003）年4月 大学院社会福祉学研究科を社会学研究科に名称変更
- 平成17（2005）年4月 大学院総合福祉研究科に名称変更
- 平成18（2006）年4月 総合福祉学部心理学科を 実践心理学科に名称変更
- 総合福祉学部社会学科を 人間社会学科に名称変更
- 看護学部看護学科開設（千葉第2キャンパス）
- 平成19（2007）年4月 総合福祉学部実践心理学科を 臨床・対人心理専攻及び ことば心理専攻に専攻分離
- 国際コミュニケーション学部 人間環境学科を人間環境専攻及び ことば教育専攻に専攻分離
- 平成22（2010）年4月 コミュニティ政策学科を開設
- 平成23（2011）年4月 総合福祉学部教育福祉学科を開設
- 平成24（2012）年4月 経営学部経営学科・観光経営学科を開設
- 看護学部を看護栄養学部名称変更、栄養学科開設
- 平成25（2013）年4月 教育学部子ども教育学科を開設
- 平成26（2014）年4月 人文学部表現学科、歴史学科を開設（東京キャンパス）

千葉キャンパス

CHIBA Campus

キャンパスは広いので迷子にならないでね!



【11号館】

2F~4F クラブ・サークル室

クラブ・サークル室は11号館2F~4Fにあります。そこでは、たくさんサークルが活動しています。私が所属している「うたう会はぐるま」も元気に活動しています。



1F 食堂

11号館以外に10号館にも食堂があります。

総合福祉学部 実践心理学科 2年 上山 唯さん(右)

コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科 2年 小野 照興さん(左)



先輩が紹介する キャンパス活用術

キャンパスにはたくさんの仲間と、みなさんを支える先生、職員がいます。日々の学生生活そのものが「共生」「思いやり」を学ぶ環境といえるでしょう。先輩たちが各キャンパスのおすすめ・お役立ちスポットを紹介します。

Let's Go !!



【15号館】



10F テラス

キャンパスのなかで最も高い場所に位置したテラスで、景色を眺めるには、最適な場。黄昏時の茜雲が、一番の絶景。



10F アドミッションセンター

アドミッションのアドバイザーの職員さん、アドスタッフが集う場所。明るい室内にはジェフユナイテッドや、千葉ロッテマリーンズの団旗があります。また、アドミッションオフィスのマスコット(?)のシュクトクマがいます。可愛い!



7F 調理実習室



6F PC室

中にはたくさんのパソコンがあり、情報の授業の事前・事後学習を行ったり、レポートの作成を行うことができます。一年生は、情報の授業が必修なので、必ず利用することになると思います。座席の確保はかなり競争率が高い!



7F 福祉実習室



B1F 総務部



1F 学生サポートセンター

履修登録をはじめ、奨学金、部活やサークル等について相談できる場所。学生生活において困ったときにも、優しく教えて頂くことができ、忘れ物や落とし物もここに集まります。各書類関係も揃っています。



B1F キャリア支援センター

就職関連や、資格等について相談できる場所。就職活動は、3年からのイメージが強いですが、そんなことはありません。1年のうちからたくさん通っておくと、将来の明確な目標が見つかるかもしれません。



【2号館】

1F 保健相談室

体調が悪くなった時や、体調について個別に相談する時に利用します。



【13号館】



学生相談センター・臨床心理センター

学生が困ったことなどによる相談が受けられます。地域に開かれた心理臨床センターが整備され、心理臨床の専門家(臨床心理士・精神科医・カウンセラー)が対応します。



【3号館アネックス】

2F ラーニングcommons

ラーニングcommonsは、去年オープンしたスペースで、グループワークやプレゼンテーション活動によく使われます。



【4号館】

図書館

26万冊以上の蔵書が揃い、パソコンや自習室も備わっています。本を借りる以外にも論文や情報検索をしたり、新聞や雑誌を読むことに利用する学生が多いです。(自習室は本当に静かで集中できます)



【1号館】



1F 地域支援ボランティアセンター

ボランティアをしたいという人々に向けてボランティア活動を紹介しています。被災地での活動として宮城県でのボランティアも行っています。大学外では、ボラセンで運営している絆カフェで小学生たちと触れあい、地域との関わり合い・連携を深めています。

2F 同窓会事務局



1F 発達臨床研究センター

発達に遅れや障がいを持つ子どもに対して、子どもの発達支援を学ぶ学生が音楽療法や運動療法、関係療法等を通して、一人ひとりの発達の支援を行う施設です。



4F 淑徳アーカイブズ

淑徳大学50年の歴史が展示されています。

東京キャンパス

TOKYO Campus

【図書館棟】



図書館

1階から4階までのフロアを占める広いスペースと、約10万冊の蔵書がそろっています。レポート作成や自習学習の場としても利用することができます。

【4・5号館】



1F スタジオ教室

機材も豊富で本物のスタジオみたい！演劇などの授業で使用しています。少人数でアットホームな雰囲気ですが、やはり本格的な施設でプロの先生に教わる時は緊張します。



1F アドミッションオフィス

受験生に向けて情報発信したり、オープンキャンパスなどのイベントを企画・運営しています。入学のときにお世話になった職員さんもいます。今回はキミが受験生をサポートしてみよう。オープンキャンパスの学生スタッフ「アドスタッフ」も募集しています。



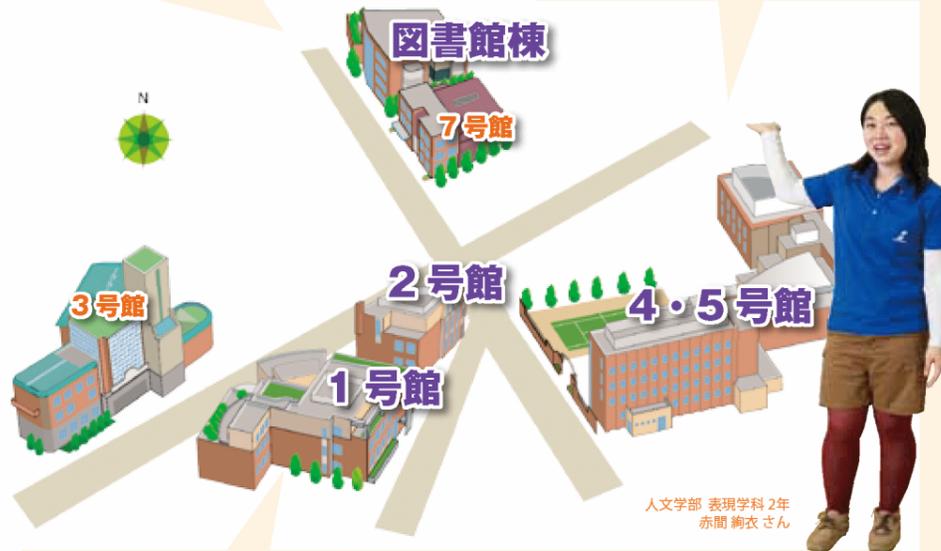
1F 学食・オープンテラス

安くおいしいランチが食べられます。友人と待ち合わせをして一緒におしゃべりしながら楽しいランチタイムを過ごしましょう。



1F、3F、4F フリースペース

友達とおしゃべりしたり、サークル活動をしたり、とにかく自由に使えます。大学生生活を充実させるポイントは、友達づくりと時間を上手に使うこと。そのためにはピッタリの空間です。



人文学部 表現学科 2年 赤間 絢衣さん

【1号館】



1F 学生支援部

学生生活で困ったことやサークルでやりたいことがあればココで相談。履修・成績・免許・資格などの学習面や、奨学金などの学生生活をサポートしています。小さなことでも疑問や不安があれば気軽に相談してみよう。

1F 総務部

学費の確認などの際に利用します。ふだんは私たちとあまり接することはありませんが、さまざまな面から日々の学生生活を支えてくれている縁の下の力持ち的存在です。

2F 学生相談室

家族や友人、アルバイト先との関係など、学生生活を送っていく中での様々な悩みや問題について相談ができる場所です。専門のカウンセラー（臨床心理士）が、問題解決のお手伝いをします。相談内容は守秘義務がありますので、安心して相談に来てください。

1F 保健相談室

ケガや体調不良の手当てはもちろん、健康についての相談に対応したりアドバイスしてくれたりします。新生入生のみなさんは慣れない大学生活で、食生活が不規則になったり眠れなかったりすることがあるかもしれません。「?」と思ったら早めの相談を！



【2号館】



1F キャリア支援室

就職についての相談にのってくれたり、就職支援のためのプログラムを企画したり、就職・進路をサポートしてくれます。まだ先のことと思わないで、気軽に訪れて話を聞いてみよう。

千葉第2キャンパス

CHIBA 2nd Campus

【1号館】



1F 図書室

図書室には、看護・栄養の専門書がたくさんあります。課題のための資料を見たり、借りたり、DVDを視聴したりすることもできて、有意義な時間を過ごすことができます。



1F 事務室

大学のことで困ったことや心配なことなど、いろいろな相談に乗ってくれます。とても優しく頼りになる事務職員の方々がいます。

図書室は私のお気に入りの場所です。授業で出されるたくさんの課題は、ここで取り組んでいます！



2号館

1号館

看護栄養学部 看護学科 2年 平野 真梨さん

【2号館】



1F キャリア支援室

学業や実習、国試対策、就職をきめこまかくサポートしてくれます。各種キャリア支援講座や公務員等の試験対策講座、海外研修など、さまざまなプログラムが用意されていますからチェックしてみましょう。



1F 調理室

【1号館】



2F 看護実習室



1F 学生ホール

学生ホールは、友達と楽しく食事をしたり、おしゃべりをしたりすることはもちろん、自習にも利用できます。自分のやりたいことができる自由で便利な場所です。



1F 保健室

埼玉キャンパス

SAITAMA Campus

わたしたちが
ご案内します！

経営学部 観光経営学科 2年
笹原 大輝さん(右)

教育学部 こども教育学科 2年
宮崎 志穂さん(左)



【1号館】



1F 学生総合相談支援室

1年生で最初に悩むことは、履修登録の方法です。履修についての質問や効率よい授業の取り方などの相談もここでできます。また、友人同士の悩み事や生活上のトラブルの相談、大学内の様々な疑問や不安事も相談できます。



1F 中庭

元々は女子短大だったこともあり、オシャレな西洋風の作りになっているのが特徴です。天気の良い日などは、中庭のテーブルでご飯を食ったり、友達と会話を楽しめます。



2F 教員・保育士養成支援センター

空き時間を利用して教員採用試験対策講座の指導を受けたり、手遊び、パネルシアターの作成と練習もできます。長期休業時には採用試験対策宿舎もセンターが行います。他にも保育に関するアルバイトの募集も掲示しているので、要チェックです！



1F 学事部

授業、履修、成績や奨学金、サークルなどの各種手続きをここでを行います。大学生活において最も重要な施設で、とてもよく利用します。困ったときは、優しい職員さん達がサポートしてくれます。



1F 総合キャリア支援室

高い就職率を誇る埼玉キャンパス。資格取得から就職まで、気軽に相談にのってくれるキャリアカウンセラーがいますよ。



1F 学生食堂シルクロード

うまい、安い、早い、三拍子揃った学生の味方です。季節限定メニューや地域フェアなども行っています。食事以外でも学生同士の交流の場となり、とても賑やかで楽しい時間を過ごせます。

【2号館】



1F 生協購買書籍部

授業で使う教科書や検定テキスト等の販売を行っています。他にもパンやお弁当、お菓子も売っているので、学生は昼休みや休み時間にコンビニ感覚で利用しています。日によってはセールもあり、美味しいお菓子は早いもの勝ちです。



3F ミュージックラボラトリー

マイク付きのヘッドホンを使用しながら、ピアノの弾き語りの練習もできます。授業では、前方のモニターで先生の指使いを確認できる上に、先生のピアノと自分のピアノの音がヘッドホンを通して聞けます。

【3号館】



1F~4F 情報教室

1年生はパソコンの授業が必修なので、頻りに利用します。また、授業の課題レポートや資料などもパソコンで作成しますので、重要な施設です。他にもPC自習室があり、空き時間には自由にパソコンを使用できます。

最新設備が
揃っています！

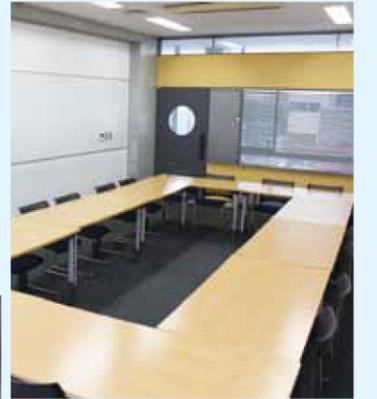


【4号館】



3F 国際交流センター

主に留学の手続きや外国人留学生の支援などを行っています。短期海外研修やブラジル派遣研修などの研修プログラムの担当部署です。



1F~3F 教室

少人数用のゼミ室や40人教室、マルチメディア教室があります。数年前にグッドデザイン賞を受賞しており、とてもキレイな作りになっていて、楽しく授業が受けられます。



サークル、クラブ
活動も盛んです！



【クラブ棟】



クラブ棟

サークルやクラブ活動の拠点となる部室があります。また、ダンスサークルの練習は、1階「ギャラリー」を使います。音楽系サークルの練習室もあり、音が外に漏れにくい吸音室です。全部室にエアコンが完備し、シャワー室とランドリー室(全自動洗濯機)、エレベーターも設置されています。空き時間や放課後を利用して、快適に楽しく練習をしています。



【図書館・研究棟】

地階、1F~3F 図書館

図書館という静かなイメージがありますが、1階の「ラーニング・commons」は会話可能なスペースです。友達と語り合いながら共に学んだり、移動式の電子黒板やホワイトボードなどを使って、ディスカッションやプレゼンテーションの練習などもできます。1階以外は静寂空間なので、集中して読書や勉強をしています。3階のAV/PC室では、自由に使えるPCを用いて学習やDVDなどの視聴覚資料を観ることもできます。



学祖の事業の原点の二つ

マハヤナ学園

いまも続く学祖の足跡を訪ねてみよう

Not for him, but together with him.

学祖・長谷川良信先生は、仏教、教育、社会事業、社会福祉の実践と研究に生涯を捧げました。その志と情熱を受け継ぎ、本学は50年の歴史を積み重ねました。大正7年、良信先生が28歳のとき、東京、西巣鴨の二百軒長屋において隣保(セルルメント)事業を始め、社会事業と教育に本格的に身を投じました。翌年、現在も児童養護施設として活動を続けるマハヤナ学園(現：マハヤナ学園撫子園、社会福祉法人マハヤナ学園)を創設します。100年近い歴史をもち、西巣鴨から板橋に場所が移りましたが、いまなお良信先生の精神を身近に感じることが出来る存在と言えるでしょう。西巣鴨や板橋は良信先生や本学園の縁の地。機会を見つけて学祖の足跡をたどってみるのも良いかもしれません。



写真：学祖長谷川良信先生
生誕120年記念展 図録より
マハヤナ学園創立一周年に集う
児童クラブの子どもたち

二百軒長屋での活動から マハヤナ学園の創設へ

良信先生が二百軒長屋に移り住んで活動を始めたころは、いわゆるスラム街が東京とその近郊に点在し、いまでは考えられないような粗末な家で貧しい暮らしを送る人たちがいました。それほど状況は厳しく、相当の決意をもって、寝食を忘れて住民の生活改善や福祉の向上に尽力します。

まず、こうした体験を経て、不就学児童・年少労働者の夜学、近隣住民の相談等を組織的、体系的に展開する必要性を感知し、マハヤナ学園の創設に着手したのです。

こうして、早くも翌年の大正8年にマハヤナ学園は創設されましたが、そこには数々の困難がありました。友人の協力を得ながら学園の建築費や社会事業資金のための寄付金集めに奔走します。ようやく創設にこぎつけてからも、最初は二百軒長屋の一室がマハヤナ学園の事務室でした。間もなく、二百軒長屋に隣接した西巣鴨の地に園舎が建設されま

創立当初は夜学部・相談部・児童倶楽部・商上倶楽部・調査部が設置され、その後、保育や医療などの事業まで発展していきました。また大正末期には、マハヤナ学園内に大乗女子学院(夜学)を創設し勤労女子教育に着手しています。

そして第二次世界大戦直後、戦災孤児の収容救済のため、昭和23年に乳児院および養護施設を開設(乳児院は後に廃止)。昭和25年には、養護施設を板橋区(志村)前野町に移転し、名称を「撫子園」として、いまもこの地で良信先生の思いとともに活動しています。

西巣鴨、池袋のいま・むかし

二百軒長屋とマハヤナ学園は、当時の東京府北豊島郡西巣鴨町庚申塚、現在の東京都豊島区西巣鴨二丁目にありました。いまは淑徳巣鴨中学高等学校の周辺一帯にあたります。かつての西巣鴨という地名は、大塚から池袋の一部まで含んでいました。サンシャインシティは巣鴨プリズンのあったところ(興味がある人は調べてみましょう)。当時西巣鴨にはほかにも教育や福祉に関する施設がありました。巣鴨駅から都電荒川線の庚申塚停留所、明治通りに至るルートは有名なとげぬき地蔵もあり、多くの人が訪れにぎわっています。



都電庚申塚停留所



淑徳巣鴨中学高等学校第二体育館
入口にはマハヤナ学園跡の碑がある

良信先生の社会事業を支えた 感恩奉仕の精神

マハヤナとは、古代サンスクリット語『Maha(大きい)・Yana(乗物)』のことです。大きい乗物に一切万有を乗せ、仏智、慈悲の彼岸に運んでいくことを意味します。マハヤナ学園の名称は、創立時に、良信先生の恩師である渡辺海旭師によって命名されました。これは本学の創立の精神でもある大乗仏教の理念であり、仏の教えはより多くの人々の救済を目標にかかげ、社会的教化に重きを置くという考えです。

では、二百軒長屋での活動をはじめとする困難を良信先生はどのようにして乗り越えることができたのでしょうか。二百軒長屋への移住を決意する前、26歳のときに、良信先生は胸部疾患に冒され、南房総で転地療養、闘病生活を送りました。いく度か生死の境をさま

よったほどの重篤な状態でした。このとき、感恩奉仕の精神を深く自覚したのです。

私たちは多くのの人々や自然の恩恵によって生かされている(感恩)存在であり、感謝の気持ちを持つことはもちろん、それをさらに深く考え、実社会において「人を生かして共に生きる(奉仕)」ことが大切であるという考えです。共生、'Not for him, but together with him.'(彼のために、ではなく、彼とともに)の精神の根本をなすものです。マハヤナ学園の運営は、良信先生の妻よし子夫人に負うところも大きかったと言います。実の娘や息子を後まわしにして、園の子どもたちに温かく、優しく接した姿勢は、いまなお慕われ続けています。マハヤナ学園撫子園と東京キャンパスがある板橋は落ち着いた環境。今日も明るい声が聞こえます。



欧米留学時の良信先生。
関東大震災発生により急遽帰国する。



マハヤナ学園創立趣意書



大正時代後半のマハヤナ学園。学園行事の様子。

『トウギャザー ウィズ ヒム 長谷川良信』長谷川匡俊著 新人物往来社
『長谷川よし子の生涯 マハヤナ学園と共に』米村美奈著 淑徳大学
長谷川仏教文化研究所 (淑徳選書)

東武東上線ときわ台は板橋の田園調布

現在のマハヤナ学園撫子園と東京キャンパスの最寄り駅である、ときわ台駅南口を降りると、放射状に道が広がり、閑静な住宅地が続きます。これは、昭和初期に東武鉄道が住宅地を開発した際に田園調布をモデルにしたことによります。池袋から近い立地にもかかわらず落ち着いた雰囲気です。マハヤナ学園が移転した当時から、広い敷地や自然に恵まれた環境が喜ばれたと言われています。西巣鴨とは中山道(国道17号線)で結ばれています。その沿道には、板橋区内に志村一里塚が残されており、国の史跡に指定されています。桜の季節に中山道沿いを散策してみるのもいいでしょう。



現在の
マハヤナ学園外観



東武東上線ときわ台駅

しました。当日は12月としては穏やかな日差しに恵まれ、午後1時に川越駅に集合。事前のクラスアワーでグループ分けした班ごとにまとまって、ワークシートを手にしながら川越の街を調査して歩きました。川越は史跡が多く、半日では見て回りきることができないため、調査ポイントはそれぞれの班ごとに決定。途中の川越城址では、中世史を専門とする遠藤ゆり子准教授による解説があり、学生のみなさんは江戸時代当時の堀の様子や本丸御殿などを見学しました。また、ゴールとなった川越市立博物館では、専門の解説員の方による説明を受け、近世から近代に至るまでの「小江戸」川越の発展について理解を深めました。



考古学の研究会を開催

12月21日、東京キャンパスにて「東南アジアにおける出土銭貨の考古学的研究」と題する研究会が開催されました(研究代表：三宅彦彦教授)。今年度出発したばかりの人文学部歴史学科では、記念すべき最初の学術的な研究会。森田喜久男歴史学科長による開会の挨拶ののち、国内外から集まった出土銭の専門家が、研究成果の発表と熱い議論を繰り広げました。

歴史学科の学生さんも研究会のお手伝いをして、受付やPC操作、写真撮影などを行いました。1年生ながら一生懸命に会の成功のために頑張りました。研究会の内容は難しかったかも知れませんが、学者の研究に打ち込む姿勢にふれることで、学問の魅力を感じることができたのであれば、これからの大学での勉強にも、プラスになったのではないのでしょうか。



表現学科演劇発表会

1月10日、淑徳大学東京キャンパスのアリーナで、望月純吉先生(文学座・演出家)担当の人文学部表現学科1年後期科目「創作表現技法Ⅱ(演技)」の授業において、表現学科1年生たちが全員参加の演劇発表を行いました。

学生達は前日まで入念に準備・確認を行い、オリジナルの台本で学生が演出・出演をし、限られた時間の中で、精一杯打ち込み、一生懸命頑張りました。



新企画「就活シミュレーション」を実施

3月1日、就活解禁目の1月29日に就活シミュレーションを実施しました。



本企画は11月から始まった就活支援行事の集大成として、採用試験における全選考ステップ(筆記試験、グループディスカッション、面接)を1日で実践するものです。面接官も外部の企業経験者等に協力をいただき、まさに本番さながらに実施いたしました。当日は、16名が内定をゲット。今回は残念だった学生も含め本番はこれからです。就活生ガンバレ!

「ジョブフェア2016」を実施

2月10日に、業界研究セミナーとしてジョブフェア2016を実施しました。

1業界1社を原則として、30社の人気企業に参加いただきました。まず30社から1分PRをしていただき「もっとお話を聞きたい業界」を絞ります。その後図書館ラーニングコモンズに場所を移し、皆積極的に4~5社のブースを回りました。昨年まで体育館で実施してきましたが、今回のほうがカフェのよ



うな雰囲気です。企業、学生双方から大変高い評価をいただきました。

平成27年度 新入生対象スプリングセミナー・保護者説明会を開催!

3月7日、スプリングセミナー・保護者説明会を開催し、経営学部と教育学部を合わせて新入生約220名、保護者約150名にご参加いただきました。スプリングセミナーでは英語習熟度試験と入学前課題の指導、在学生によるレクリエーションゲーム等が学部別に行われ、入学前の不安が和らぎ、4月からの大学生活に期待を膨らませている様子でした。保護者説明会は、本学の教育方針や大学生活のサポート体制についてよく理解できたと好評でした。



TOKYO Campus

人文学部歴史学科 「川越フィールドワーク」を実施しました!

12月19日、人文学部歴史学科では年度内最後のフィールドワークを埼玉県川越市で実施

しょうゆ館」で、ビデオ視聴、食品製造工程の見学、食品の試食などをしました。授業で学んだことを踏まえて、実際の食品製造・加工、食品衛生を学べるよい機会になりました。

SAITAMA Campus

新しい自分を発見! リーダーズキャンプ

リーダーズキャンプは、キャンパスというコミュニティの中で、サークル・クラブやゼミの運営、また学内行事やボランティア活動などを主体的に実施できる学生を育てる企画です。その目標は、「学生が『刺激』を受けて今は違う自分を見つけること」と「学内行事の企画と実施ができること」です。今年度は、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、1泊2日(1月5日、6日)の合宿形式で実施しました。

参加学生は56名、講師の指導や体を動かすワークショップ形式などで研修内容は高い満足度でした。初めは、初対面の学生とのコミュニケーションやキャンプの内容に不安を抱く学生もいるようでしたが、グループで協力して達成する課題と講師の適切な指導により、積極的に、楽しく学ぶことができました。



卒業論文・制作コンテスト入賞作品発表会

平成26年度卒業論文・制作コンテスト入賞作品発表会が、1月24日に開催されました。今年度の最優秀賞は、人間環境学科の小布施円さんと文化コミュニケーション学科の浅野愛実さん、優秀賞は各学科から1名ずつ選出され、研究内容を発表しました。



▲小布施円さん



▲浅野愛実さん

どの報告も各人の努力や学習の成果がうまくとめられており、ご参加いただいた先生方や学生諸君にとっても非常に参考になる機会となりました。受賞者の皆様のご活躍に期待します。



2日間で約650名の観客を迎え、千葉市の車椅子スポーツの推進政策と手を携えて、全国トップレベルの熱戦に多くの市民が触れる機会になりました。



2名に博士、13名に修士の学位記授与

大学院総合福祉研究科では、博士後期課程の佐藤麻衣さんに博士(社会学)、田中寿夫さんに博士(社会福祉学)の学位が、博士前期・修士課程では、修士(社会福祉学)の学位が大隅さん他2名に、修士(心理学)の学位が、青柳さん他9名に3月15日に授与されました。向後益々の精進とご活躍を祈念します。



CHIBA2nd Campus

香川栄養学園優良賞を受賞しました

第28回家庭料理技能検定(文部科学省後援)3級に合格した栄養学科1年の高橋らさんが、香川栄養学園優良賞を受賞しました。家庭料理技能検定は、家庭料理の知識と技能が問われるもので、本学栄養学科の学生も毎年多数受験しています。高橋さんの受賞は後輩にとって励みになるものです。受賞おめでとうございます。



看護師・保健師国家試験奏功会を開催

看護師・保健師国家試験奏功会が2月9日に開催されました。奏功会では、キャリア支援委員から受験の心構えについて、学部長から激励の言葉、下級生や教職員からはビデオでの温かい応援メッセージが贈られました。「Go! Go! 5期生」を合言葉に、1年間国家試験対策に取り組んできた学生たちは、国家試験合格への意気込みを新たにしました。



栄養学科2年生が工場見学を行いました

2月10日、栄養学科2年生が、食品衛生学・食品学の授業の一環として工場見学を行いました。午前中は、雪印メグミルク(株)野田工場、午後はキッコーマン食品野田工場内「もの知り

員の方々と一緒に進めてきました。当日は、受付、MC、音響、照明、客席誘導、企画などの係に分かれ、それぞれの役割を果たすことができました。裏方として主役を支えるために必要となる配慮について学ぶ機会となりました。



2016 就活決起集会を開催

1月27日、3月の就職活動本格スタートを前に約500名の学生を集めて就活決起集会を開催しました。学長、学部長からの激励メッセージや仮想企業の選考を体験した「プレ就活」での優秀学生の表彰。新スケジュールで行われる就職活動の留意点などをあらためて確認した後は、関の声を高らかに発し、希望就職先の獲得を誓いました。2月には直前実践講座や業界・企業研究イベント「業界ウォッチ」を開催し、2016年卒の就職活動がスタートしました。



リーダーズキャンプを開催

3月2日・3日、3学部リーダーズキャンプが行われました。最初は緊張していた参加者もアイスブレイクで徐々に打ち解け、目的意識も高まりました。グループワークのテーマは「集団での活動を活性化するために」。実際に各団体が発生している問題を解決するために、夜遅くまで準備してプレゼンテーションをしました。



集団行動の大切さを学び、リーダーとしての自覚が認められた2日間でした。

第4回 長谷川良信記念・千葉市長杯争奪車椅子バスケットボール全国選抜大会開催

3月7・8日、千葉ポートアリーナにて学生実行委員会(19名)の主幹・



運営のもと開催されました。開会式には熊谷俊人千葉市長、足立敬学長、閉会式には田中秀親副学長に出席いただきご挨拶をいただくとともに、地元メディアにも取り上げられました。

ALL Campus

3キャンパスで認知症サポーター養成講座開催

認知症サポーター養成講座が千葉キャンパス(1月14日)、埼玉キャンパス(2月24日)、東京キャンパス(2月25日)で開催されました。それぞれ講師をお招きし、学生や教職員、一般の方が参加しました。生活の中で認知症の人を温かい目で見守り、適切に対応する方法についての説明があり、参加者には「認知症サポーター証」であるオレンジリングが配布されました。

震災復興支援講演会

本学の卒業生であり、宮城県石巻市立大須中学校長でいらした岩佐勝氏をお迎えし、震災復興支援講演会が3月11日に池袋サテライトキャンパスにて開催されました。震災当時、ボランティア活動で訪れたことのある学生、教職員などあわせて52名が参加しました。

「できることを。いま。ここから」をスローガンに、3.11を風化させないために、ボランティアの現場で体験した思いを心に受け止め、学生の一人ひとりがしっかりとした言葉で次へ繋げてゆく誓いを発表しました。最後に、震災が起きた時刻に参加者全員で黙とうをささげ閉会しました。



CHIBA Campus

石巻レポート柏女教授講演

1月10日に、石巻市で行われた幼保合同研修会で柏女雲峰教授は講師をつとめました。震災以前からの人口減少と少子・高齢化が震災後に一層の深刻さを増す現地、震災から4年が過ぎて徐々に情報が風化していくような中で、「被災地に足を運び知ることは復興支援に繋がっています」と主催の石巻市教育委員会の関係者より賛辞が寄せられました。

南部青少年センター「ゆめチャレンジ」

1月24日・25日、千葉市南部青少年センターが主催する、中学生や市民団体の演劇や演奏等の発表会である「ゆめチャレンジ」が実施されました。社会福祉学科1年の教職課程コースの学生が、9月から企画の発案・準備をセンター職

大学50周年イヤー始まる！

淑徳大学は昭和40年に開学し、今年で50周年を迎えました。この記念すべき年に大学では様々な行事を計画しております。

平成27年9月26日(土)には、大学創立50周年記念式典及び祝賀会を千葉キャンパスで挙行致します。「～受け継がれる“TOMO-IKI”～地域から社会、そして世界へ」をテーマに、多くのお客様や諸先輩をお迎えして大学の50年を振り返り、未来を展望する行事です。式典に先立ち、開学の翌年に亡くなられた学祖長谷川良信先生の50回忌法要も行われます。

現在、大学50周年をお祝いするため、キャンパス内外に広報を行っていますが皆さん気が付いていますか？まず、千葉キャンパス近隣の蘇我駅及び埼玉キャンパス近隣のみずほ台駅前に、大学50周年のフラッグを掲出しました。地域の商店会や町内会との連携活動のもと、実現されたものです。また、大きな幟やミニ幟、懸垂幕や横断幕などが各キャンパス毎に工夫され、キャンパス内を歩く皆さんに楽しんでいただけていると思います。

学生のスポーツ系サークルのユニフォームにも、大学50周年のワッペンを付けてもらっています。

これからも学生・教職員一体となって50周年事業を展開してゆきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(▲50周年ワッペン)



206

今号の
Cover Person



廣澤 瑠里 さん

コミュニティ政策学科 3年

3.11メモリアルフィルム実行委員長を1年生の時に務めました。2年生で中央区ふるさとまつりや千葉駅からパルコ前公園イルミネーション運営に携わりました。とても貴重な経験でした。今は自分の知識不足を痛感し、3年生になって「今まで以上に勉強しよう」という決意を新たにしています。千葉日報社ユニバーシティプレス2015淑徳サプリーダーになり、学生記者として皆さんのところへ取材依頼に出向くかも知れません。その際はどうぞ宜しくお願い致します。

栄養学科の

知識モリモリ × 栄養モリモリ

今回は西川 恵 先生に伺いました。

vol.9



“Bran”て何？

Blueの大型バスが発着する蘇我駅、そのコンビニの密かなグルメです。種類の豊富さにはびっくりします。ある商品の袋の中には、クッキーのように見える塊が四個入っています。表示には、340kcal(72g)と書いてあり、10種類のビタミン、食物繊維、カルシウム、鉄などがバランスよく配合されています。

●“Bran”の主な栄養成分(100gあたり)

食物繊維	カルシウム	鉄	マグネシウム	亜鉛
50g	100mg	15mg	520mg	11mg

「糠・ぬか・ふすま」を知らない人はいないでしょう。小麦の糠が“Bran”です。

胚乳のみパンとして消費され、胚芽と皮の部分は捨てられるか、セラミックになっていました。糖の代謝に欠かせない補酵素ビタミンB1、活性酸素を消去する酵素“superoxide dismutase; SOD”などを含むため、機能食品として見直されています。

“Bran”のレシピ本を出した学生達があります。「東大料理愛好会」です。「塾や、夜遅くまで勉強していると空腹になります。このような時、“Bran”を食べると脳が活性化されます。ヨーグルトをつけて、ホウレンソウのスープに浮かして、さつま芋とマッシュしてロールケーキのようにして」と。

明治時代、海軍の脚気対策から日本の「栄養学」は始まったと言っても過言ではありません。「主食論争」があったことなど忘却の彼方の今、若い学生達の間で“Bran”が息づいています。どのように活用するかは、あなた次第。研究室のネズミの餌であることを想像すると、食欲が落ちるので、食べ過ぎの予防にもなります。

編集後記

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。また、在学生のみなさん、進級おめでとうございます。4月というのは全ての学生にとって、1日、1日をBrand new dayとして感じる事ができる特別な月です。この4月の気持ちを忘れずに、大学生活を有意義に過ごして行って欲しいと一教員として考えています。

また、本年は淑徳大学が開学して50年という節目に当たる年です。本学で得る知識・経験が今後の皆さんを支え、成長していく過程と共に淑徳大学の歴史は紡がれていきます。皆さんが淑徳大学であり、淑徳大学が皆さんであるわけです。

You'll never walk alone! (野木村)

「淑徳大学広報」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております！

reply@soc.shukutoku.ac.jp

千葉キャンパス

総合福祉学部／コミュニティ政策学部
大学院総合福祉研究科

千葉県千葉市中央区大蔵寺町200
TEL. 043-265-7331

埼玉キャンパス

国際コミュニケーション学部／経営学部
教育学部

埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
TEL. 049-274-1511

通信教育部

東京都板橋区前野町5-8-7
TEL. 03-5392-5768

千葉第2キャンパス

看護栄養学部

千葉県千葉市中央区仁戸名町673
TEL. 043-305-1881

東京キャンパス

人文学部
淑徳大学短期大学部

東京都板橋区前野町2-29-3
TEL. 03-3966-7631

池袋サテライト・キャンパス

東京都豊島区南池袋1-26-9 MYT第2ビル7F
TEL. 03-5979-7061